

施策 No.17 文化財の保存・活用									基本計画 掲載頁	86～87	
総合評価	B：順調に進捗した	今後の 方向性	Ⅱ：一部見直し等 の余地がある	施策展開の評価数		A	0	B	4	C	0
				(参考)事務事業評価の実施状況		A	0	B	5	C	0
成果	歴史民俗資料館の展示については、デジタルサイネージのコンテンツ更新や定期的な展示替え、企画展示や特別展示、イベント等を実施し、調査を実施した資料の展示をすることで、文化財の活用ができた。 また、同館においては、市指定無形文化財の保存団体への補助を通じ、市指定無形文化財の保存や後継者育成の一助とすることができた。			成果・課題を 踏まえた今後 の対応方針	歴史民俗資料館は立地や複合施設としての特性をいかし、定期的な展示替えやデジタルサイネージのコンテンツ追加、イベント等を継続して実施し、リピーターのみならず新規来館者の確保に一層努めていく。 また、メディアやSNS等で積極的な情報発信を行い、コンテンツ利用者は増えているが、必ずしも来館に結びついていない。そのため、発信方法を工夫するとともに、コンテンツ利用者の評価を検討する必要がある。 併せて、引き続きリーフレット等の刊行や学校教育との連携を通じ、文化財に関する効果的な啓発及び広報活動を推進して、文化財への理解と関心を高めるとともに、市民に対し、地域への愛着や誇りの醸成を図る。						
課題	県指定史跡である野火止用水の説明板の更新を行ったが、野火止用水に限らず文化財説明板は設置から長期間経過したものが多く、老朽化等により交換の必要性が高まっているものも多い。板面の内容や設置場所、インターネットとの連携等、総合的な検討を踏まえた上で、今後劣化の激しいものから優先的に交換を進めていく必要がある。 より多くの市民に睡足軒の森を利活用してもらうために、施設利用に関する周知を継続して実施する。市主催事業については、協力者と調整をしながら実施する。										

主な施策展開の進捗状況（定性的な評価）

【評価の基準】 A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた

(1) 文化財保護体制の充実		評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
1	文化財保護法・条例に基づき、指定文化財を保護するとともに、民俗、記念物、遺跡など、未指定の文化財の調査・研究を進め、更なる保護に努めます。	B	・文化財保護審議委員会を年3回開催し、市内の指定文化財について、専門家からの指導、助言を受け文化財保護に努めた。 ・野火止用水陣屋堀築堤遺構を市の史跡に指定し、市指定候補の文化財についての調査・研究を進めた。	歴史民俗資料館
2	保存・管理・整備・活用という四原則の下、新座市の歴史を紹介し、平林寺や野火止用水を始めとする文化財を保護していくとともに、伝統文化の保存・継承を支援します。	B	・国指定天然記念物である平林寺境内林については、ナラ枯れ被害への対策等、所有者と定期的に協議を行った。 ・県指定史跡である野火止用水については、説明板の更新、平林寺堀の清掃業務、市民団体との意見交換などを行った。 ・平林寺から貸与され、市で管理している睡足軒の森については、年間の施設利用者が増加した。文化事業として、市民呈茶を3回、落語・津軽三味線を計3回実施した。 ・市指定無形文化財の保存団体に対して、補助金を交付した。	歴史民俗資料館
(2) 文化財の保存・活用と施設の整備		評価		所管課
3	市民が地域への愛着と誇りを持てるように、リーフレットや書籍などの刊行やウェブサイトの活用、学校教育との連携などを通じて、文化財に関する効果的な啓発及び広報活動を推進します。	B	・「睡足軒の森」リーフレットの作成・頒布、文化財散策ガイドの更新・増刷を行った。 ・小学校3・4年生を対象に野火止用水沿いの風景絵画を募集し、「未来に残したい野火止用水の風景展」と題して10月から11月にかけて歴史民俗資料館にて作品展示を行った。 ・市ウェブサイトやLINE配信を積極的に活用し、情報発信を行った。	歴史民俗資料館
4	リニューアルした歴史民俗資料館について、更なる有効活用を図ります。また、その他文化財関連施設の整備と効果的な運営を図ります。	B	・常設展示に加え、デジタルサイネージのコンテンツの充実、企画展示や特別展示、関連講座・イベントを通じて更なる事業内容の充実を図った。 ・収蔵品の保存から活用までを一元的に行う管理システムの導入準備を進めた。 ・来館者数は一時的に減少しているが、上記のとおり事業内容の充実を図り、今後のデジタル化に向けた準備を進めることができたため、施策全体としてはB評価である。	歴史民俗資料館

施策のK P I（重要業績評価指標）

【達成度の基準】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標を下回る指標値

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和6年度時点 達成度	所管課
歴史民俗資料館来館者数	3,301人	6,468人	5,619人				10,000人	C	歴史民俗資料館